

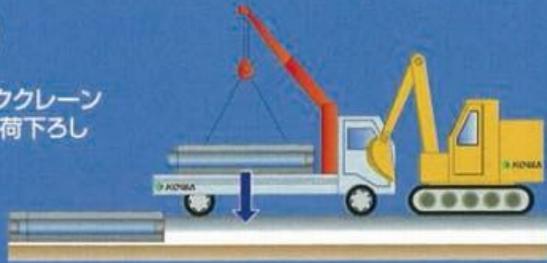
メンテナンス対応型ブロックと従来のブロックの施工手順の比較

## 従来型との比較

### 従来：プレキャスト消雪パイプの据付

①

トラッククレーン  
による荷下ろし



②

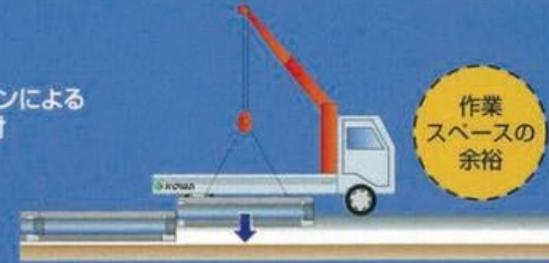
トラッククレーンと  
バックホウによる据付  
(躯体をスライド)



### 消雪パイプブロック(メンテナンス対応型)の据付

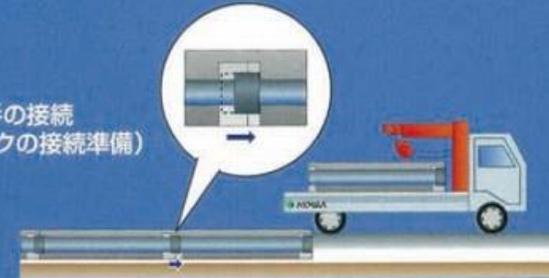
①

トラッククレーンによる  
荷下ろし+据付



②

スライド式継手の接続  
(+次のブロックの接続準備)



工期  
短縮

コストの  
縮減

安全性  
向上

重機作業の  
軽減

従来は、クレーン付きトラック等でブロック躯体を持ち上げ、後部端面をバックホウ等で押してスライドさせることにより据付を行っていました。新型ブロックでは、継手の接続を別途行うため垂直設置が可能となり、重機作業が軽減される等、いくつものメリットがあります。